

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2019年 9月 24日

事業所名： おひさま園

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・十分確保している。あまり広すぎると、走り回ってしまう事があるので、パーテーションや柵で子供達に合わせた環境の工夫をしている。	・母子保育の時、狭く感じる。	・部屋は、十分なスペースが確保できている。母子保育では、大人が多くなるため、学習を別室で行ったり、パーテーションなどで区切って、子ども達に合わせて、環境を整えている。
	2 職員の適切な配置	・適切な配置をしている。	・先生の名前を覚える為に新聞でグループ全体の写真付き自己紹介があると嬉しい。	・適切な配置をしている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・子供達の発達や行動に合わせて、絵カードや写真等で、分かり易く知らせている。	(特になし)	・利用者に合わせて、いろいろな対応の工夫をしている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・日々の掃除をしっかりと行い、必要に応じて玩具や柵の消毒を行っている。	・新しい園舎で子供はもちろん、親の方も快適に過ごせている。	・日々の掃除や整理整頓をしっかりと行っている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・日々、打ち合わせと反省を行い、業務改善ができるように話をしている。		・打ち合わせ、反省をしっかりと行うようにしている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・実施していない。		・実施していない。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部での研修に行く機会があれば参加するようにして、研修報告の機会を持つようにしている。		・継続して行っていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・職員間で「子ども達についての課題」について、話をするようにしている。	・個別面談でしっかりと聞き取りをして頂き、子供に合った支援計画書を作成してくれる。	・職員間でアセスメントをして計画書を作成していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・カンファレンスを行い、計画を立てている。		・子ども一人ひとりのカンファレンスを行い計画を立てている。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・スモールステップで達成出来る目標を立てるように心がけている。		保護者に分かりやすいような計画書の記載を心がけている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・利用児の今の目標を職員が意識出来るように打ち合わせの時に話をするようにしている。	(特になし)	・一人ひとりの目標をスタッフが把握して、取り組めるようにする。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・園会議をしている。	・利用して間もないので分からない。 ・プログラムは多種多様で、楽しみながら勉強、活動ができるようになっている。	・園会議やクラスの会議を持つようにしている。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・休み前には保護者に、次回の利用日の確認をしたり休み明けには休日の過ごし方を尋ねたりして支援している。		・長期休みの前には、次回利用日の確認をし、休み明けには、家での休日の過ごし方を尋ねたりして支援している。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・同じようなプログラムにならないように工夫している。		・プログラムがマンネリ化しないよう、工夫している。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・朝の打ち合わせを行っている。		・打ち合わせを十分行い、支援内容や役割分担の確認を十分していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・反省の時間に、共有出来るようにしている。		・反省会をしっかりとて、同じ反省が繰り返されないようにしている。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・その日の記録をしっかりと書くようにしている。		・継続していく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・計画の見直しを行っている。		・定期的に会議を持ち、子どものアセスメントを行って計画書の作成をする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・サービス担当者会議がある時には、サービス管理責任者や、担当が行くようにしている。		・積極的に、担当者会議に参加して、必要に応じて、会議を持つよう提案している。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・利用見なし		・利用見なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・利用見なし		・利用見なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・関係連携会議や送迎時に話し、支援内容を共有している。		・サポートブックの作成を積極的に取り組んでいる。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・年長クラス(就学前)は、保護者と密な連絡をとったり、小学校との話などを行っている。		・就学前は、保護者との面談を多く持ち、小学校との話し合いも行う。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修には、進んで参加するようにしている。		・研修には、積極的に参加するように勧めている。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・現在、交流はないが、今後考えていく。	・機会があるとは聞いているが、まだその日にちを聞いていない。 ・進学を考える上で定型発達の子達の中で自分の子がどのようになるのかわかる材料となるのでできるだけ多く開催してほしい。 ・上の年齢のクラスではあるそうです。獨協大学に行った時や、他のお子さんの兄弟との交流はある。	・現在交流は、行っていないが、今後考えていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・子育て支援で、地域の子供達にきてもらう日を作っている。	(特になし)	・地域の子供達と保護者が来る日を作っている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に説明している。	(特になし)	・契約時にしっかりと説明をしている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・面談を通してお話をしている。	(特になし)	・面談を持って保護者と話をしている。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・おひさま会やママ会等を実施。	(特になし)	・おひさま会やママ会を実施している。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡帳で日々の様子を知らせ、母子保育の日に密に話をしている。	(特になし)	・日々、連絡帳や送迎時に密に話をするようにしている。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者の話をよく聞いて、必要な助言をするようにしている。	(特になし)	・いつでも保護者の相談に乗れるようにしている。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・おひさま会やママ会等をしている。	(特になし)	・おひさま会やママ会は、参加しやすい日程を調整している。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・保護者の思いを聞くようにして、その都度適切な対応を心掛けている。	(特になし)	・保護者の思いを十分に聞くようにして、その都度対応している。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・写真や絵カードを利用して知られる。	(特になし)	・写真や絵カードを活用して分かりやすく伝えている。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・おたよりの配布。ブログを行う。	(特になし)	・ホームページの更新や保護者へのおたよりでお知らせしている。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・日誌などは外へ持ち出さず、園での管理をしている。	(特になし)	・同意をもらい取り扱う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・新しい園なので対応マニュアルを作っていく。	(特になし)	・マニュアルの作成をしている。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・避難訓練の実施をしている。	(特になし)	・定期的な避難訓練を行い、AED研修への参加をしていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・研修で聞いたことや、子供についての話をする。		・子ども又は、保護者の小さな変化を見逃さないようにする。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体拘束は行っていない。 ・離席のある子供に座るよう促す時は、保護者への説明をして理解を得ている。		・身体拘束は行っていない。 ・離席のある子どもに座るよう促す等の対応は、保護者へ説明をして理解を得ている。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者へのアレルギーの有無の確認をする。		・保護者からの聞き取りと調査票への記載をしていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・事故等があった時には、書面報告、全体会議等にてスタッフ間で必ず共有する。		・職員間での共有をして、同じ事が起こらないように工夫している。